

縄文時代の森が目の前に

地下にそびえる巨木群。

この木々は縄文時代の森の姿を現代に伝えてくれます。

幾重もの年輪を重ね、

悠久の時を生きた巨木は神々しくさえあり、

太古の自然が壮大であったことを物語ります。

さあ、時を超えた森に出会う旅に出かけましょう。

佐比売山是也

「石見国と出雲国の堺なる、名は佐比売山是なり」

出雲国風土記が伝える国引き神話の一文。

「佐比売山」とは三瓶山の古称です。

優美な山容の山は、幾度も繰り返された

火山の噴火で生まれました。

約四千年前、その火山灰は山麓の森を埋めました。

神話の山が太古の森を残してくれたのです。



三瓶山遠景(出雲市大社町より)